

# 「基本計画2023」の策定にあたり 区民の皆さんのご意見を募集します

平成30年2月に策定した区の総合計画である「基本計画2018」は、今年度で前期5カ年が終了します。この間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う生活様式などの変化、築地市場跡地開発や晴海のまちびらきに向けた動きなど、区を取り巻く環境が大きく変化しています。

こうした変化を踏まえて、今後10年間を見据えた具体的な施策や取り組み内容を示す新たな基本計画の策定を進めています。

そこで、計画の内容に関して区民の皆さんのご意見を募集します。

### 意見の募集期間

11月21日(月)～12月20日(火)

### 閲覧場所

区役所1階まごころステーション・情報公開コーナー、2階政策企画課、日本橋・月島特別出張所の他、区のホームページでもご覧いただけます。

面課、日本橋・月島特別出張所の他、区のホームページでもご覧いただけます。

### 意見の提出方法

住所、氏名(団体の場合は団体名と代表者名)、年齢、電話番号を明記の上、区役所2階政策企画課に持参、郵送、ファクス、Eメールまたは区のホームページのパブリックコメント(区民意見提出手続き)から期間内必着でお寄せください。



### 問い合わせ・ご意見の送付先

〒104-8404  
中央区築地1-1-1  
政策企画課政策企画担当  
☎(3546)5213  
FAX(3546)2095  
✉kihonkeikaku2023@city.chuo.lg.jp

## トピックス



### 第20回銀茶会

10月30日、銀座の秋の風物詩「銀茶会」が3年ぶりに開催されました。茶道五流派と煎茶道が一同に会し、銀座のまちそのものが野点の茶席となるこの催し。会場を訪れた皆さんは、澄み切った青空の下、深まる秋を感じながら一服のお茶を楽しんでいました。

## 明るい選挙作品コンクール 入選者決定

明るい選挙作品コンクールに1,240点の応募がありました。

審査の結果、ポスター・書道・標語の3部門で82点の入選作品が決まりました。

入選作品の中から、啓発物品などに利用する作品を選定します。

また、ポスターの部入選作品の中から次の12人の方の作品を、都が実施するポスターコンクールの2次審査に推薦しています。

### 推薦者氏名(敬省略)

- 眞壁良太(城東小)
- 田中伯京(泰明小)
- 炭谷 理莉子(中央小)
- 加藤小青(中央小)

- 村上絢進(京橋築地小)
- 村上琳香(銀座中)
- 泉 柚衣(晴海中)
- 浜辺月乃(晴海中)
- 本山愛子(日本橋中)
- 三島千穂(日本橋中)
- 松井美礼(日本橋中)
- 向出衣吹(日本橋中)

なお、都へ推薦した作品については、次のとおり展示します。

**展示場所**  
区役所本庁舎1階ロビー  
**展示期間**  
12月20日(火)～26日(月)  
**投票管理委員会事務局**  
☎(3546)5541

## 君にある 未来を動かす その権利

▲中央小学校6年 鈴木梨乃 さん(中央区最優秀作品)



▲有馬小学校5年生 平山 純一郎 さん(中央区最優秀作品)

▲日本橋中学校3年生 向出衣吹 さん(中央区最優秀作品)

## 区内の文化財

### 新富町躍金楼店舗

国登録有形文化財 建造物  
新富一丁目10番4号

中央区新富一・二丁目地区は、街区の北側に八丁堀(かつては東西に八丁堀川(桜川)が流れていた)、西側と南側には首都高速都心環状線(かつての築地川の跡)が走っており、堀で囲まれていた往時をしのばせます。また、南側の都心環状線(築地一・二丁目の街区)の地下には東京メトロ有楽町線の新富町駅があり、明治4年(1871)から昭和46年(1971)まで使用されていた旧町名「新富町」が駅名として残されています。

江戸時代には大部分が武家地で占められていた新富地区は、明治に入って隣接する南東エリア(現在の明石町・湊一帯)に築地外国人居留地が開設されたことに伴い、

新島原遊郭が設置されました(明治4年までの短期間に形成された花街)。遊郭廃止後、跡地に新たな町「新富町」が起立すると、明治5年に浅草猿蓑町(現在の台東区浅草六丁目の一部)から歌舞伎劇場「守田座」が移転してきました。なお、開場後は町名にちなんで「新富座」と改称し、周辺一帯は芝居茶屋・俳優の居宅・料理仕出し店・道具方・囃子方まで、多くの歌舞伎関係者が住む芝居町として繁栄しました。

現在、新富一丁目10番街区の一角に店舗を構える割烹料理店・躍金楼は、花街・芝居町として華やかににぎわった明治期の新富町で開業した歴史をもちます。明治6年(1873)に創業した躍金楼は、当時の36名店のうちの一つとして浮世絵師・豊原国周(1835～1900)による「開化三十六会席新富町躍金楼」(明治11年(1878))にも描かれています。また、浮世絵師・月岡芳年(1839～1892)の「皇都会席別品競新富町躍金楼」(明治11年)にも、枝ぶりの良い松の木が立つ躍金楼の中庭が描かれています。

なお、創業当時の店舗は、新富町内の西寄りの区画に位置していたとされ、戦後の昭和24年(1949)頃に現在地へ店舗を構えるようになったようです。

登録有形文化財である新富町躍金楼店舗は、木造2階建ての主屋(昭和24年頃の建築)と増築された木造(外壁面の一部はコンクリートブロック造)2階建ての部分(昭和35年(1960)の増築)で構成されています。なお、同店舗新築の際には、以前から同地(敷地の奥)に立っていた土蔵造りの蔵を取り込むかたちで建てられたようです。建物を見てみると、瓦葺きの屋根(切妻造り)の妻入り(建物の妻側に出入口があること)の両側に下屋(主屋の外壁に接して設けた小屋根)を出していることがわかり、北側には別棟で居室が取り付けられた構造となっています。

外観の特徴は、建物の正面である東側の表通りと南側部分に黒板塀が設けられている点です。特に、出入口となる正面には、腰部を切石張りとした門塀を構えるとともに



▲新富町躍金楼店舗

に、奥へ進むと主屋のわずかな空間に半間程度の風情のある前庭が配されています。また、内部の各部屋には、部屋名(「うさぎの間」「ひさごの間」「竹の間」など)と合うような手の込んだ意匠や設えがあり、料亭建築の特徴である客動線に配慮した間取り(廊下から座敷が見えないような工夫)もみられます。

角地に立つ同店舗は、伝統的な木造料亭の姿を留めながら、旧花街・芝居町として栄えた新富地区の歴史を伝える希少な歴史的建造物となっています。

中央区教育委員会 学芸員 増山一成

(6) 「区のおしらせ ちゅうおう」は区役所、特別出張所、区民館などの区施設、コミュニティバス、区内公衆浴場、一部金融機関、百貨店、ファミリーマート(一部店舗を除く)、都営地下鉄の駅(東銀座・宝町・築地市場・日本橋・人形町・東日本橋・馬喰横山・浜町・勝どき・月島)、東京メトロの駅(京橋・銀座・東銀座・新富町・築地・八丁堀・三越前・日本橋・人形町・茅場町・小伝馬町・水天宮前・月島)、JRの駅(新日本橋・馬喰町)、文化堂でも配布しています。

凡例 問い合わせ(申込)先 HP ホームページアドレス Eメールアドレス 区のおしらせ ちゅうおう SNSなど 区の公式 SNSなど